

令和7年度 地域連携推進会議議事録

日時：令和8年3月10日（火）10:00～

場所：ヴィラ星原 食堂

進行：園中 芳子

記録：藤原 幸穂

1. 開会の挨拶

管理者あいさつ

2. 地域連携推進会議の趣旨説明

管理者より説明

3. 構成員自己紹介

橋口 渉様（浜津協集落長） 長深田 美智子様（民生委員） 鮫島 博人様（民生委員）

中種子町役場 地域福祉課 原田様 松下 護（相談支援専門員）

重田 きよみ様・猪熊 成三様（利用書代表） 牛野 素直様（家族代表）

グループホーム管理者 藤 博美

4. 事業所の現状報告

別途資料あり。

5. 入居者様の地域生活の状況

資料をもとに各ホーム利用者様の説明を行う。

（鮫島さん） 上方Ⅱ・Ⅲ番館の家主は誰ですか？

（管理者）Ⅱ番館は岩屋商店さん Ⅲ番館は暁星会の持ち物です。

（橋口さん）ヴィラ上方はどうなっていますか？

（管理者）一昨年より暁星会職員の社宅となっています。

（鮫島さん）就職されている方は月どれくらい働いていますか？

（重田さん）月に12日くらいです。

（管理者）多い方でクロネコ・ファミマ勤務の方は週5日くらい働いています。

事業所を利用されている方は月～金曜日の利用となっています。

介護施設等では利用者様の状況の説明等も行っていた。グループホームでは利用者様の状況についてはどうしているのか？

（管理者）年に3・4回「にこにこ通信」を発行しお知らせしている。

（牛野さん）はい、頂いております。

6. 地域行事・災害時の連携体制

- ・坂元、浜津脇の道払いに参加。
- ・12月星原校区避難訓練に参加。
- ・上方は連絡が上手くとれず道払いは不参加。
- ・利用者の高齢化もあり、参加が難しくなっているができるだけ職員体制を整えて行事に参加したい。
- ・グループホームでもBCPを作成している。非常食については3~4日分程各ホームに確保している。
- ・火災については夜間訓練の実施を行っている。(管理者)煙草を吸われる利用者様もいるためしっかり訓練を行っていく。
- ・昼間に災害等が起きた際、利用者様で携帯を持っていない方がいるため、その際の連絡手段をどうすればよいかも課題。

7. 今後の課題と取り組み

- ・4月よりホームの利用者様の移動について説明を行う。
上方IV番館を女性ホームにして定員を3名とする。ヴィラ星原は定員8名になること。(橋口さん)定員は30名を超えてはいけないのか?ヴィラ星原は9部屋あるが増やせないのか
(管理者)30名を超えるとサビ管を2名にしないといけないこと。ケアホームなども部屋は1床空いているが7名定員と8名定員では加算単価に違いがあるため
- ・災害時に備え、消防団と地域が協力し動きやすい体制を整えている。
- ・個人情報記載の連絡網があれば今後、検診や避難訓練に使用できる。
- ・各ホームの名簿、住所記載の物があるといい。

8. その他

- ・地域の方、班長や、集落長さんに利用者の特性を話し、理解を深めてもらう。
若いの方が柔軟に利用者とのコミュニケーションをとりやすいが、年配の方は理解が難しいので自身の特性も知ってもらう為、地域のゲートボールに参加してはどうか。
- ・第3土曜日 ユリイカ活動(地域住民との交流の場)に参加しているが、地域の方に浸透しておらず知らない方が多い。今後積極的に発進していく。
- ・8年度、利用者様の移動もあるため、地域の方へ知っていただくためにも総会に出席し、顔と名前を憶えてもらうといいのでは。
- ・ホームの世話人さんが退職されるため、人員を探している。星原校区の方、働きたい方がいらしゃる際はよろしくお願いします。
(管理者)会議の開催についていつ頃実施したほうが都合がよいでしょうか?
5月の連休以降が集落長などは都合がよいかも
ホーム見学